2012
メンズファッションに革命、シティボーイの大流行

平成24年

主な出来事 新原発の稼動が一時ゼロに／iPS細胞の開発により、山中伸弥教授がノーベル医学生理学賞を受賞／オスプレイの沖縄配備／金環日食の観測／東京スカイツリー、梅田阪急ビルの開業／『パズル&ドラゴンズ』がiOSでサービス開始【当時の総理大臣】野田佳彦（〜2012年12月26日）／安倍晋三（2012年12月26日〜）

モデル：ノックソ

モデル：とみたけいこ

カワイイが広がっていくよ（画像右）
パステルカラー

どの時代もファッションリーダーの存在は強く、10年代前半の主役がきゃりーぱみゅぱみゅなのは明らか。パステルカラー、セーラー襟など「プチコスプレ」がヒットした。

チェスターコートの制服化（画像左）
蘇るシティボーイ

雑誌「POPEYE」のリニューアルがこの年。80年代に打ち出していた元々のコンセプトを再度提案し、大ヒット。ファストファッションブームのカウンター的でもあった。このシティボーイブームは現在のメンズファッションの根幹にもなっている。

2013
原宿ブームは形を変えてネオン、ニューエラがヒット

平成25年

主な出来事 TPP交渉に日本も参加／経済政策「アベノミクス」が始動。金融緩和など／北日本で歴代1位の積雪など、この年も豪雪に見舞われる。夏場も異常気象が多く発生し、竜巻被害も増加／スマホの普及率がフィーチャーフォンを上回る／『アナと雪の女王』ヒット／富士山が世界文化遺産に登録される

モデル：ねーちゃん

モデル：にーちゃん

シティボーイからの西海岸（画像右）
年齢問わずスタジャン

西海岸ストリートがシティボーイの派生で広まり、年齢・男女問わずにスタジャンがブームに。「ニューエラ」と合わせることで一層ストリート色を強めた。

エッジの効いたカラーが人気（画像左）
ネオンカラーブーム

まだまだ原宿ブームは止まらない。スパイシーでエッジの効いたネオンカラーや、モノトーンストライプ、チェックが流行。ペンシルスカートなどの形も人気になった。

2014
SNS映えの双子コーデテーマパークはお揃いまみれ

平成26年

主な出来事 STAP細胞論文の捏造問題／消費税増税、5%から8%へ／広島で豪雨による土砂災害／関東・甲信地方で2週連続の大雪／『笑っていいとも！』の放送終了／AKB48握手会傷害事件／アニメ『妖怪ウォッチ』の放送によるブーム／エボラ熱の感染拡大／ソチ冬季オリンピック、フィギュアスケート男子シングルにて羽生結弦選手金メダル獲得

モデル：クツ代

モデル：白鳥ふくえ

イロチで買おうね
双子コーデ

スマホの普及により、流行はSNSから発信されるように。人間関係の充実などをSNSでアピールするのも、若者の深層心理としてあったりなかったり。

2015
LDH VS 究極の普通メンズファッションの行く先

平成27年

主な出来事 安全保障関連法の成立／東京五輪エンブレムの白紙撤回／新国立競技場の計画見直し／東日本豪雨で鬼怒川の決壊／ラグビーW杯イングランド大会にて、日本代表が3勝。／「欅坂46」「NGT48」グループ結成／訪日観光客の急増。「爆買い」／北陸新幹線の全区間開業／世界各地でイスラム過激派のテロ／ギリシャで金融危機

モデル：二番煎じ

モデル：フォーゲル

ダンスが必修科目に（画像右）
エグザイル系、流行

街中みんなエグザイルというより、そういったファッションのグループが一般的になったという動き。エグザイルは自身のファッションブランドも展開した。

究極の普通って、オシャレ？（画像左）
世界的流行、ノームコア

グレーや白のスウェットに、普通のデニム…果たしてこれがオシャレかと言われれば謎だが、一斉を風靡したのも事実。自然体でいることの美しさが評価された。